

令和 6 年度第 2 回南箕輪村持続可能な自治会検討委員会 議事録

- 1 開催日時 令和 6 年 8 月 21 日（水）午後 7 時から
- 2 開催場所 南箕輪村役場 講堂
- 3 開会
- 4 委員長あいさつ
- 5 検討補助委員からの意見共有
- 6 第 1 回検討委員会ワークショップまとめ
- 7 ワークショップ
自治会運営業務の課題整理と解決方法検討・発表
- 8 今後の検討内容（案）
- 9 次回の日程
日時 10 月 1 日（火） 午後 7 時
場所 講堂
- 10 その他
- 11 閉会

12 出席検討委員

西森一博	征矢 章	河野道夫	山田 茂
唐澤正吉	篠澤 哲	中山 隆	植田 学
志野英男	山本ゆかり		

13 出席検討補助委員

木下 茂	三澤 稔	大日方音巴	瀧澤婦美恵
天田美咲			

14 欠席検討委員

小出俊一			
------	--	--	--

15 村長

藤城栄文			
------	--	--	--

16 副村長

田中俊彦			
------	--	--	--

17 出席事務局

高橋里江	東澤規江	山口みずき	
------	------	-------	--

18 欠席事務局

--	--	--	--

19 一部参加

--	--	--	--

高橋里江	会議次第 1. 開会 それでは、皆様、こんばんは。お疲れ様でございます。少し時間より早いですが、今日の予定の皆さんお揃いですので、ただいまから、持続可能な検討委員会を始めてまいります。ここで、皆さんにお知らせがございます。今日、小出委員ですが、先ほど連絡をいただきまして欠席ということでしたので、ご承知おきください。また、前回の会議で、皆さんにお名前をお知らせしたところですが、山本ゆかりさんが新しく検討委員になってくださいまして、今日初めての委員会でございますので、一言ご挨拶をお願いできますでしょうか。
山本ゆかり委員	皆さん、こんばんは。7月の初回ですが、用事があって欠席しまして大変申し訳ありませんでした。2回目ということで、今日からお世話になるわけですが、実を言うと私、今年3月をもって定年退職をしまして、それもあって北殿区の日赤の分団長を仰せつかりました。区長とも結構話す機会がありまして、区長は区の行政について本当にいろんな意見を持ってらっしゃる方で、私も日赤を受けましたところ、各組から上がってくる、北殿ですと48組ありますから。それぞれ班長さんが出てくるわけですが、名簿が上がってきたはいいものの、私はできないよとか、娘さんから電話がかかってくる、90のばあさんに何をやれって言うのかとか、そんなお電話をいただいたりしました。本当に人選というのは、たぶんどこの区も苦勞されているだろうし、北殿も例外ではないなと改めて感じました。私はそれまで、お勤めしながらでも区の役というのは、区を知ることではなくて、そこに住む者の役目として受けるものと捉えてきましたので、そう考えますと、これからの区のあり方というのも私たちが考えていけないといけないと思いました。ちょうど高橋課長から声をかけていただいたので、お力になれるかどうかわかりませんが、皆様のご意見をちょっと聞きながら、また区長とも話をしていきたいと思います。これからよろしく願いいたします。
高橋里江	ありがとうございます。それでは、続きまして、次第の2番ということで、委員長あいさつをお願いいたします。
征矢章委員長	会議次第 2. 委員長あいさつ はい、こんばんは。第1回、この前やった内容をもとに、また今日それに肉付けしていただければと思います。今日は特に中込区の回覧ということで、これから説明があるので、そういうことも参考にしてい

高橋里江	ただいて、是非、ここで出た意見は区へ持ち帰り、区の三役くらいには、こんなことがあったよという話をしてみてください。お願いします。 ありがとうございます。それでは、ここでまた皆さんにお知らせが ございます。自治会検討委員会ですが、委員の皆様他に検討補助委員という方々がいらっしやいまして、今、何人かお願いしているところですが、こちらも新しく北殿区の天田美咲さんをお願いすることになりましたので、またこちらの会議の結果などをご覧いただきながら、ご意見を頂戴することになってまいりますので、ご承知おきください。それでは、大きな3番の前ですけれども、先ほど委員長からお話がありましたが、中込区のデジタル回覧のことについて、少し西森委員から紹介をいただきたいと思います。よろしくお願いします。
西森一博委員	はい。中込区では、デジタル回覧を先行的にやってみようかなと思ひまして。というのも、デジタル回覧と言われても、中々そのイメージが湧かないというご意見もありましたので、じゃあ私の方で簡単にどんなものかを体験していただきたいと思ひ、無料サイトですが作ってみました。こちらはパソコンでも見られますし、スマホでも見られるという形態になっております。実際に見ていただくと、新しい回覧というものが3項目ほど入っておりますが、こちらは最新の回覧が出ます。例えば、8月の回覧（1）というのがありますが、これをクリックすると、村から来た回覧の内容をデジタル化してあります。これはPDFにして、それを画像に変えて貼り付けてあるだけという簡単な仕様ではあります。このような形で、クリックしますと画像を大きく見られるようになっております。基本的には、スマホの利用者の方が多いですので、パソコンで見るという想定よりはスマホで見るという想定で作っております。なので、スマホで見ればズームをして見ることができます。その他に、当然回覧の履歴というものがありまして、過去の回覧がここで見られる。例えば、区議会を中込区でやっておりますので、その議事録をここで見ることができます。この良いところは、回覧が回った後でも確認ができるという点が非常に良いと若い方を中心に、非常に便利であるというお話をいただいております。回覧の他に、今の区の役員、組長、そういったものを一覧として出してあります。当然、個人情報になりますので組までとして、電話番号や住所は一切入れないようにしております。区の活動内容として簡単にこういったような形で説明文を入れたりもしてあります。あと、区民総会の資料を入れてありまして、このように資料が入っています。あと、

	区の規約というのがありまして、意外と区の規約を知らないという方が非常に多いのでこれをもうちょっとオープンにして、皆さんに知っていただくようにと思い、規約をここに掲載しております。というような形で、必要最低限の情報をこのウェブで見られるようにしたということです。現時点では、まだ閲覧数は全然少ないです。というのも、従来の回覧で、ウェブ化してありますという案内しか出していないので、知っている人しか見ていないんですね。これを個別配布して、家ごとに個別でアドレスを配布することによって、閲覧数はさらに伸びるだろうなと思っております。一応、そんなところで、体験していただくという意味合いを込めて今回作ってみましたので、参考になればと思っております。以上です。
河野道夫委員	質問1ついいですか。今後、これを管理するというか、誰が主体で運用されていくのですか。
西森一博委員	これは、一応今年度限りとしてあります。次年度、もしこのまま継続したいということであれば、これは無料のページですが、有料のちゃんとした作りでやっていかなくてはいけないので、そしたら予算を立ててください。私も無料でずっと運営するわけにはいかないなので、当然更新はしますが、その代わりちゃんとお金をいただきます、といったようなお話にはしてあります。ですので、現時点では体験という形になっております。その先は、区民の皆様のご意見を聞きながらやっていこうかなと思っています。
唐澤正吉委員	いいですか。今、見させていただいているんですが、私が見たということはどこかでわかるようなサイトなんですか。
西森一博委員	はい。個人の特定はできないですが、一応、何人見てるのは分かります。
高橋里江	はい、西森委員ありがとうございました。またもし何かお尋ねになりたいことがあるようでしたら、会議の終了後にでも直接お尋ねいただければと思いますので、お願いいたします。それでは、次第3番、検討補助委員からの意見共有ということで、ここからは6番、今後の検討内容までは委員長の進行でお願いいたします。
征矢章委員長	会議次第3．検討補助委員からの意見共有 それでは、検討補助委員からの意見共有ということで、まず、この前配られた資料に載っていると思いますが、事務局の方から説明をいただきたいと思います。
山口みずき	はい、会議資料1になります。検討補助委員からの意見共有というこ

征矢章委員長	とで、今回3名の検討補助委員の方からご意見をいただきました。もう既にお目通しいただいているかと思いますが、次の会議資料2の第1回ワークショップのまとめにも、検討補助委員の意見を、今回記載してありますので、参考にご覧いただければと思います。3番の説明は以上になります。 ご質問ありましたら挙手してください。無いようでしたら、4番の第1回検討委員会ワークショップのまとめということで、ローカルライフさんからお願いいたします。
松澤清和	会議次第4. 第1回検討委員会ワークショップまとめ はい。ありがとうございます。改めまして、こんばんは。ローカルライフと申します。本日もお仕事の後のお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。早速、始めさせていただきたいと思います。資料2、第1回ワークショップのまとめ、A3の横長の資料をご覧ください。まず、こちらは前回皆さんに出していただいた意見を、カテゴリー別にまとめてあります。今日、検討していただく内容が、この1枚目の紙になります。大きくはこの1枚目の紙が本日の検討内容で、2枚目以降の紙は次回の検討内容というように分けております。前回のまとめということで、まず左側から、役員のなり手不足のお話、ご意見をいただいております。課題として、まずワークショップで出た意見として、役員のなり手不足や、区長のなり手がいない、あと三役もなり手がいないというところ。特に今、区長さんや区長代理さん、あと女性役員、こういったところの増加にも課題を感じていらっしゃるというご意見をいただいております。同じく解決策として、ワークショップの中で出た意見では、役職の定年制ですとか、区、組が期待する役を全うできない方々の受け皿みたいなものを作ることによって役割を残していくといったようなご意見をいただいております。次の列になります。行事やイベントの関係です。行事が多い、また、イベントが多すぎるというご意見の中で、そのイベントの標準化が必要ですよね、というお話や、この間、神子柴のお話もありましたけど、魅力的な行事を作ることによってより多くのまとまりができるのではないかなというご意見もいただいております。先ほど事務局の方からもお話がありましたけれども、検討補助委員の皆さんのご意見もカテゴリーに分けてここに記載してございますので、ご確認いただければと思います。続きまして、3列目、区の運営についての内容になります。こちらは区の運営に必要な議決が、今、総会しかない中で、ライ

松澤清和	フスタイルに合った自治会のあり方や、総会以外で検討・運営ができる組織作りというのにも必要じゃないかというようなお話や、その解決策として、役員以外の自治会に加入している一般の方々の作業量を減らしたり、作業を代わりにする事務員さんを各区につけることが必要じゃないか、というようなお話をこの中でいただいております。 一番右側、区民の住環境のご意見をいただきました。各地域に住む人々の自治会への意識付けというのが必要じゃないかというご意見。また、その直接の解決策ではないのかもしれませんが、地元を知ることが大切ですよねというお話もここでいただいております。 2枚目につきましては、次回の検討内容なので、次回もう少し細かく説明をさせていただきたいと思いますが、内容としては、区の加入の関係です。区や組の加入者促進のお話。次が、高齢者の区の退会についてのお話。その次が、組の再編についてのお話。一番右側が区費や区の加入金のお話等が出ております。こちらにつきましては、次回の議論の中で掘り下げていただきたいと思っております。続きまして、3枚目は、どちらかというと組の外のお話も含めてですが、一番左側、組内の人間関係、コミュニティの希薄化というようなお話をいただいております。次が、自主防災の関係で、防災計画ですとか防犯のお話、あと消防団員不足のお話と、これは今、西森委員さんからもお話いただいたデジタル化のお話ということで、第1回目の時に出されていしたので、ご報告させていただきたいと思っております。まとめについては以上となります。 会議次第5. 自治会運営業務の課題整理と解決方法検討・発表 では、そのままワークショップに入らせていただきます。資料3をご覧ください。A4の縦の紙になります。第2回、今回の持続可能な自治会検討委員会のプログラムとなります。今、ワークショップの説明ということで、第1回目の成果を振り返らせていただきました。今日、皆さんに検討をお願いしたい内容としましては、資料2の1枚目のところで少しご説明させていただいた、第1回のまとめの中の、「役員の選出やなり手不足」「行事、イベントの整理や活用」「区行政の運営方法」「住民の意識付け」この4つのテーマに絞って、本日は検討をしていただきたいと思っております。前回、解決策としていくつか出していただいております。それを、今度は最終的な課題解決のヒント集に載せられるような内容に具体的に掘り下げていきたいと思っております。前回も課題解決ということで、色々なご意見ですとかご
-------------	---

	提案をいただいておりますので、それをヒント集に載せられるように、より深く内容を詰めていきたいと思っております。お時間につきましては、今7時15分ですので、8時20分までグループの議論をしていただき、最後に発表をしていただいて、8時半には終わりにしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。今回、具体的に議論をしていただく中で、この4つのテーマをできれば全部やりたいとは思っていますが、必ずしも4つ議論を進めるというよりは、ヒント集に載せられるような課題解決の方法について具体的に検討をしていただきたいと思いますので、この4つ全部全うするというよりは内容についてより深く議論を進めていただきたいと思いますと考えておりますので、よろしくお願いいたします。それでは、始めたいと思っておりますので、各班でよろしくお願いいたします。 (ワークショップ)
松澤清和	はい。それでは、お時間になりましたので、発表に移りたいと思います。今日は2班から発表をしていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。
西森一博委員	では、2班の発表をさせていただきます。もう明確になりました。そもそも、なり手不足というよりは、その大前提、区が存在する、いわゆる自治会が存在する目的をしっかりと明確化した方がいいんじゃないかといった意見が多数を占めておりました。その中で、まず、村が全てを管理することは難しいという事をしっかりと伝えること。区に任せるメリットと言うと、村に任せるよりは区でやった方が、自由度は高くなります。さらに、スピードが早い。解決のスピードも非常に早くなる。あとは、村で管理するよりは区に任せた方が、細かいところに目が届くということがメリットとして上げられる。これは災害の時に、例えばご近所さんがまだ避難していないとか、そういったことがちゃんと判断できる。そういった、自治会が存在する意義、目的を明確化するという事です。そして、役員は今、男性が主にやるという、ちょっとした常識化されていますが、そうではないと。女性も当然できる。そういう能力をお持ちの方も非常に多いので、女性もちゃんと参加できるコミュニティにする。そういった目的、あとは女性が参加できるように幅広くコミュニティを広げてあげる、それを皆さんに伝える、ということが重要である。じゃあ、その伝え方をどうするかと考えた時に、ウェブと紙媒体で、区民もしくは村民の方々に知

松澤清和	っていただく。こういった目的や区の役割というものを村のホームページ等を通じて開示していく。ただ開示していただくだけでは中々見に来てくれないので、もう少しこの自治会検討委員会が存在する意義を伝えながらも、インパクトのある表現で、ホームページ、情報が載っているところに見に来てもらえる手段を取った方が良いのではないかというご意見がありました。次に運営とありますが、やはり運営する側、参加する側と2つに分かれるわけですね。参加する方が増えれば、区に関心事が生まれると思います。じゃあ、参加するためにはどうした方がいいかというと、楽しいことを増やす。楽しいことがあれば、それを目的で来ていただける。まず、そのイベントに参加していただくことで、区や自治会にも興味を示してくれるのではないかといいところでもあります。今回、一番は、やはり区の目的を明確化することが最大の意見が集約したところでございます。以上です。
征矢章委員長	はい。ありがとうございます。続きまして、1班です。それでは、よろしく願いいたします。 それでは、こちらの班の発表をいたします。役員と行事と運営と意識付け、4つに分けて話し合いました。まず、役員につきましては、役員のなり手がいない、特に三役のなり手がいないということで、1つの案として、リストを作成する。3年くらい前に、大体の道筋をつけて、3年後には区長までやっていただくというようなレールを敷いて、この年には区長をやってくださいという形にお願いできたらどうかと。つまり、計画的な役員作りということです。最後に区長をやってもらう時が一番問題になりますので、その心構えなどをしっかりその時にしてもらうということで覚悟をしていくと。役員では区長が特に大変なので、事務局を設置して、有償でやってもらってはどうか。そこには当然、予算がつかまとうので、それはまた話し合いながら決めていってもらえればと思います。役員をやっているメリットとして何が良いかというと、役員をやった事によって人脈が生まれ、親しい人がかなりできたということで、一番大事なところはその人間関係から、孤独感もなくなるし、楽しい面もあるのではないかなと思います。あと、行事につきましては、各区で色々やっていく上で、人集めが結構大変なので、例えば、子どもが参加すればそれに大人もついてくるので、子どもも大人も参加できるような、もちろんシニアも参加できるような行事を作ってみたらどうかとか。各イベントというのは、区によって多少の差はありますが、やっている中身を各区で共有して、色々な意見を交換してもらい、こういうのは良かったよとか、

松澤清和	情報として入れてもらえれば良いかなと。特に若い人が参加できるような内容を考えていけば、区の運営の上でもいいのではないかという意見がありました。あと、運営面ですが、評議員会は3年任期で1年任期ではないので、色々なことに詳しくなるし、運営上に非常に良い結果が生まれるのではないかなと。あと、公民館を中心に交流を図るために、なるべく公民館行事なども取り入れていった方がいいのではないかな。あと、意識付けです。これは、例えば大芝高原を散歩して、8,000歩とか1万歩とか歩いたらポイントとして還元する。そういう歩くことから始めて色々なことに役立てれば、少しは良い意識が生まれるのではないかなとか。孫と一緒に参加できるように、子どもとスポーツなどをしたり、しめ縄作りをしたり、そういうことをイベントとしてやってみる。それから、技術や農業を教わる。種を蒔く時期はいつ頃がいいかなとか、そういう講習会をやったら、身近になって区民の意識が高揚するのではないかと思います。以上です。 はい、ありがとうございます。今日、前半部分の役員のお話や行事のお話、区・行政の運営と住民の意識についてのお話をさせていただきました。各班、ちょっとずつ視点は異なるものの、見ている道筋は近いかなと、今、お聞きしておりました。
松澤清和	会議次第6. 今後の検討内容（案） 今後の予定ですが、資料4をご確認いただければと思います。A4縦長の紙です。今日、8月21日、第2回目の検討委員会で議論をしていただきました。次回10月1日に、次は「退区者の削減」「組の再編」「区加入金・区費」「地域コミュニティの希薄化」「防災・防犯」の関係をもう少し掘り下げて議論をしていただきたいと思いますと考えております。その後、たたき台を作りながら、他団体依頼業務、集金などの方針に関して各担当課と関係機関との調整・協議をこれから行っていきまして、11月末には自治会運営課題解決ガイドラインのたたき台を一度作り、ご確認いただきたいと思いますと考えております。その後、11月から1月の間に、ガイドライン見直しと他団体依頼業務の見直しに関する方針の草案を作りまして、1月21日、ここで概ね方針の案が固まり、最終的に内容をもう一度、1月から3月の間に修正をして、今年度「自治会運営課題解決ガイドライン」と「他団体依頼業務の見直しに関する方針」という2つの方針を作成・運営していけたらと考えています。 今日、発表の中でも質問の時間を取らなかったもので、もしそれぞれの

中山 隆委員	班にご質問等ございましたら、今、お受けしたいと思いますがいかがでしょうか。 質問というよりも、かなり1班と2班とでは視点が違う感じがしたので、このまま進められるのかな、もっとお互いに検討した視点とか内容を、もう少し擦り合わせて皆と共有ができる、そういう場面が欲しいなど。私としては消化しきれないという感じがしたので、何か検討できましたらお願いいたします。
松澤清和	はい。その件につきましては、後ほどご相談がございますので、お話をさせていただきたいと思います。
植田 学委員	質問いいですか。この場に出ていまして、補助委員の皆さんの件もしかり、ひょっとしたらここにいる人たちが当事者で、当事者が自分たちの課題と向き合っているだけかもしれないという意見がありました。YouTube やホームページで情報を開示していますが、村民の皆さんの反応というか、この会に対して興味の程はどうでしょうか。
高橋里江	はい、ありがとうございます。YouTube の方に関しましては、閲覧した方のコメントを見るしかないのですが、全くもってほぼ無いと言っていいような状態です。思っていることはあるかもしれませんが、閲覧回数もそんなに、村長の動画が530回ぐらいで、まだまだ伸び悩んでいるかなというところです。
松澤清和	それでは、これでワークショップは終わりにしまして、事務局にお返ししたいと思います。
高橋里江	会議次第7. 次回の日程 ありがとうございます。では、7番の次回の日程に入っていきたいと思いますが、よろしいでしょうか。それでは、次回の日程ということで、日時、10月1日（火）午後7時からということで、場所はこちらの講堂でお願いいたします。
高橋里江	会議次第8. その他 それでは、続いて8のその他ですが、先程、ここの今いらっしゃる委員さんの意見しか聞いてないようだというお話もありまして、今回住民に対するアンケートをしようと思っています。対象者は子どもがいる世帯です。南箕輪村は「すぐーる」というアプリがありまして、保育園と小学校と中学校は、そのアプリで色々お知らせができる仕組みがあります。その仕組みを利用して、子どもがいる世帯だけになってしまいましたが、アンケートを取ろうと思っています。アンケートの内

東澤規江	容としては、まず、例えば区に入っているのか、組に入っているのか、区に入って良かった事はどんな事がありましたか、逆に区に入っていない方はなんで入らないんですかとか。 続きですが、まず戸建てと賃貸で分けるところを作っております。その後、区や組に加入していますかという項目の中から、区と組に加入している人に、加入したきっかけはなんですか。入っていてよかったことを教えてください。入って大変だったことはなんですか。区や組を抜きたいと思うことはありますか、というような項目を案として考えています。そして、区のみに入っていて組に加入していないという世帯もあるかと思うので、その方へは何故そうですかという項目と、加入をしていない理由を教えてくださいという、複数回答可にしまして、「役をやりたくない」「人付き合いが億劫」「活動に参加できない」「加入するメリットがわからない」「引っ越す予定がある」「周りに誘われなかった」「加入の仕方がわからない」「賃貸住宅だから」「特に理由はない」というような項目を考えて、選択をしていただこうと思っています。そして、今後区や組に加入したいと思えますかという項目、こちらは自由記述です。そして最後に、ご要望・ご意見等がありましたらご自由にお書きくださいというような項目で考えています。選択項目については、事務局の中で思いついているものなので、もっとこういう回答を入れたほうがいいというのがあれば、提案していただきたいと思います。
篠澤 哲委員	いいですか。長野日報とかにも載っていますが、南箕輪が自治会検討委員会というのをやって、今それが結構大っぴらになっているじゃないですか。そういう活動を知っているのかと、それに対してどう思うのかというのがあると、浸透しているかどうかわかる。それを知っていて入っていない人もいるかもしれない、そういう参考になるのかなと。
東澤規江 山本ゆかり委員 東澤規江	質問の中に組み込むということですね。 このアンケートの目的というのがありますか。 はい。今回、検討補助委員さんのご意見の中に、若い人たちの意見がわからないというご意見がありました。そこで考えた時に、お金のかからない方法のアンケートができるのが「すぐる」という機能を使ったもの。そうすると、お子さんのいる世帯に届くので、自然と 20 代、30 代、40 代とか、これからの地区を支えていく人たちの意見が聞けるかなと思いました。
山本ゆかり委員	そこを、ただアンケートをします、答えてください、だけではなくて、

東澤規江	自治会や組の事、組のこれからを考える、それを目的としてアンケートを取りたいという、まず目的を明確にした方が、組への意識だとか認識は逆に強まるんじゃないかなと思います。じゃあ組ってどういうことやっているのかというところも、参考にできるようなものを付けた上で、こういった意見を聞くことは良いかと思います。単純にただ答えてくださいだと、単純な答えしか返ってこないように思います。私が個人的に思うに、アンケートをする時に色々難しいことがいっぱい書いてあると、最初の導入の時点で嫌になってしまう。なので、極力記述式はやめて、選んでもらうようにしたのと、全体の部分でこのアンケートについての説明はもちろん入れたいと思いますが、そこはあまりごちゃごちゃしないような形で、ただ、アンケートをとる目的は決めようとは思っています。
山本ゆかり委員	いつ頃の予定ですか。
東澤規江	次の会議、10月1日にちょうど検討する内容が、区と組の加入の関係になっていたので、9月中に取れば良いかなと思いますが、「スグー」を随時配信しているのか、定期的にポイントでやっているのか、まだ調べられていないので、そのタイミングに合わせて9月中にはと思っています。
植田 学委員	14日に傾向だけでも見られませんか。あがっているところで。
高橋里江	そうですね。回答が来ている分だけを見ることはできるかもしれませんが。
唐澤正吉委員	日程的に忙しいですか。
東澤規江	電子申請で回答してもらうので、一応集計はできます。アンケートのタイミングと、あと回答率ですかね。大体、世帯で1人だけ答えれば良いというような形にしようと思うので、ただ、お子さん全員分が届くので、分母だと700ぐらい、ちょっと回答率がわからないですが、回答期間は1週間から2週間程度の間に回答してもらおうようにするのがいいかと思いますが、その辺りはどうでしょうか。
唐澤正吉委員	回答状況は瞬時に出てくるので、それで回答をするのか、関心がないということで回答しないのか、そこは任せていけばいいと思う。お願いします。
東澤規江	ありがとうございます。
高橋里江	ありがとうございました。その他について、事務局からは以上ですが、皆さんから何かございますか。

高橋里江	会議次第 9. 閉会 それでは、以上を持ちまして、第 2 回南箕輪村持続可能な自治会検討委員会を終了したいと思います。ありがとうございました。お疲れ様でした。
-------------	---